

東雲(しののめ)

vol.40(281)

7月になりました。先月の終わりから、突然の猛暑襲来によって日本各地では6月の過去最高気温を記録したという事が報道されています。「今、こんなに暑かったら、この先どうなるんだろう？」との若干の心配もありつつ、これから夏本番を迎えます。「夏は暑いのが当たり前」と、開き直すだけではなく、部活なども久しぶりに今年の夏はしっかり行われるでしょう。暑さ対策を忘れることなく、きちんと対処して7月・8月を迎えましょう。ちなみに、夏の熱中症対策として太陽の熱を吸収しにくい服の色は白・黄色で、よく熱を吸収する色は緑・黒色だそうです。両者では、熱の吸収によって20度もの差ができるそうです。今年の夏は例年以上に、白と黄色できまりでしょうか(笑)

5月のゴールデンウィーク明けから五月雨(さみだれ)式に続いていた中間試験から期末試験という流れも、6月で一応終了という感じになりました。これからは、夏休みに向けての準備の時期に入っていきます。各自、自分の学年 etc.により状況も様々ではありますが、当然今年も夏期講習を行います。中3生、高3生はこの夏休みの過ごし方で来年の春の進路が決定すると言っても過言ではありません。当然、受験生でない人も対象です。今、自分が何をしなければいけないのか？何をしたらいいかわからない・・・と言う人は、相談してもらっても良いです。7月の終わりから8月まで1ヶ月以上続く長い休みを利用して、深～い復習や予習ができるのは今しかありません。これまで学校生活に追われて落ち着いて勉強できなかったと言う人、ちゃんとした規則正しい生活を送りたいと言う人は、是非参加してください。夏期講習も自分の予定を考えて日程を組めるので、部活などで忙しい人でも参加は可能です。夏期講習も同じ学年の人が「ヨーイドン！」で勉強を開始するわけではありません。一人一人の現状や得手不得手によって学習内容は異なってきます。「今、何をしないといけないのか？」それをしっかりと見つめ直して学習していきましょう。

中のお手紙には、夏期講習のお知らせ・日程表・参加申込書を入れてあります。日程に関しては多少の変更があるかもしれないのでご了承ください。正式な日程が判明し次第にお知らせいたします。お手数をお掛けして申し訳ありません。

長々と夏期講習の話を書きましたが、夏休み中も夜の通常授業は普段通りに行いますので、ちゃんと勉強しに来てくださいね。



また、例年通りに夏期講習は塾生以外の人も参加可能なので、気になるお友達のいる人は是非とも声を掛けてあげてください。お友達紹介の特典の1000円分の図書カードプレゼントの特典もずっと継続中なので、お友達紹介してくださいね。

今年は、コロナも落ち着いてきている(?)ということで、高校見学がこれまでよりも活発に行われるようです。自分が興味のある学校には是非足を運ぶなり、ネットなどを利用して参加してほしいと思います。この先、3年間通うことになる学校ですから、「どこでもいいや」では無くて納得した学校選びをしてもらいたいと思います。高校見学には事前の中学校への申し込みが必要です。実施日時や参加申込の期日を確認の上、「わすれてた・・・」なんてことが無いように注意してください。ちなみに、高校の体験入学は中学3年生を対象に行われますが、大学のオープンキャンパスは受験生以外も参加は可能です。興味のある学校は早めにチェックしても良いかもです。

今月の終わりからは、いよいよ夏休み。大量の宿題が出されることでしょうか。各宿題も課題によっては提出が早かったりするのですが、最近の傾向です。読書感想文も学校の先生方が優秀な作品を選ぶために十分な時間が欲しいからか、8月の初めが提出期限になっているようです。

久しぶりに、そんな読書感想文について・・・賞などがいただけると、推薦にも役に立ちますから頑張ってかいてみませんか？そもそも読むべき本の指定がないので、こんな楽な宿題は他にはない気がするのですが・・・本の嫌いな人にとってはそうでもないようで、不思議な気がします。本を好きになる方法としては人から勧められた本でもいいですが、自分の好きな映画の原作を読んでみる事。最近の映画は大分良くなっていますが、まだまだ原作の面白さを超える映画はなかなかありません。読書感想文の題材としては最近では映画の原作本はN.G.だったりしますが・・・

そして、読書感想文を書こうと、いざ作文用紙に向かったら、くれぐれも本のあらすじを書いてはいけません。一流の作家さんが何百ページも使って表現したことを作文用紙の数枚で表現できるわけないですから。私たちが書くのは、紹介文ではなくて感想文。一番書きやすいのは、主人公を自分に置き換えて自分だったらどうしたか？とか、自分のこれまでの生活の中で似たような経験は無かったか？あれば、自分はどんな行動をとったのか。主人公と比較して、当時の自分を振り返ってみると良いでしょう。主人公と同じ経験なんて、そうあるわけではないと言う人は、よく似た経験を作ってもいいので、主人公の気持ちを考えてみましょう。そして、これからの人生の中で本を読んで感じたことを、どのように生かしていくか、まとめれば良い感想文の出来上がりです。世の中には素敵な本がたくさんあります。それに触れずに生きていくのは本当にもったいないです。夏休みを利用して読書の好きな人になってくださいね。